

平成29年度進行管理・評価シート
名古屋市歴史的風致維持向上計画（平成26年2月14日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施・推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 名古屋城本丸御殿の復元	3
2 名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備	4
3 名古屋城二之丸庭園の整備	5
4 名古屋城石垣の整備	6
5 重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」 の保存・公開と市政資料館としての活用	7
6 文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営	8
7 文化のみち榑木館の管理運営	9
8 名古屋市役所本庁舎及び愛知県庁舎の歴史的価値の維持向上	10
9 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔)	11
10 「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)	12
11 本町城下町歴史案内板等整備事業	13
12 世界の金シャチ横町構想の推進	14
13 歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榑木地区)	15
14 歴史的町並み保存事業(四間道地区)	16
15 建中寺前無電柱化事業(市道 平田黒門町線 無電柱化事業)	17
16 徳川園の管理運営	18
17 蓬左文庫の保存と公開活用	19
18 堀川の総合整備	20
19 尾張名所図会看板の整備	21
20 「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業)	22
21 中川運河の再生	23
22 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)	24
23 史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業	25
24 歴史的建造物の登録・認定	26
25 なごや歴まちびとの派遣	27
26 文化のみちの推進	28
27 「歴史の里」整備事業(公開活用事業)	29
28 指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業	30
29 まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援	31
30 名古屋城本丸御殿障壁画復元模写	32
31 名古屋城本丸御殿障壁画保存修理	33
32 郷土ゆかりの文学資料室	34
33 水上交通ネットワークの検討	35
34 「ものづくり文化の道」推進事業	36
35 中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業	37
36 熱田区役所における歴史資料展示	38
37 名古屋まつり	39

38	山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業	40
39	伝統産業若手育成事業助成	41
40	伝統産業新商品開発事業助成	42
41	伝統産業製品PR事業助成	43
42	名古屋市民芸術祭	44
43	なごや子どものための巡回劇場	45
44	名古屋市芸術文化団体活動助成	46
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1	文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の策定・見直しなど	47
2	文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など	48
3	防災に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等)文化財防火デー等の防災訓練の取組	49
4	文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援(保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等)、民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等	50
5	埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画)	51
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		52
⑥その他(様式1-6)		53
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)		65

評価軸① 組織体制		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
計画の実施・推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	観光文化交流局歴史まちづくり推進室及び教育委員会文化財保護室を中心とした庁内組織である「名古屋市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」が連絡調整を行いながら事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
これまでに以下の内容で「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」を開催。 平成27年5月…平成25・26年度分進捗評価 平成28年3月…平成27年度分進捗評価 平成29年5月…平成28年度分進捗評価、平成26～28年度総括評価			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も関係課及び有識者懇談会との連絡調整を図りながら計画を推進していく。		
状況を示す写真や資料等			
<p>【法定協議会】</p> <p>名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会 ●学識経験者や行政で構成</p> <p>【庁内組織】</p> <p>名古屋市歴史的風致維持向上計画連絡会議 観光文化交流局 歴史まちづくり推進室 教育委員会文化財保護室 ・総務局 ・観光文化交流局 ・市民経済局・住宅都市局 ・緑政土木局</p> <p>国 愛知県 名古屋市文化財調査委員会 名古屋市広告・景観審議会</p> <p>市民・市民団体</p> <p>連絡調整 啓発・連携</p> <p>事業の実施 計画の推進体制</p>			

評価軸②

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
景観計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 都市景観形成地区における良好な景観形成、景観上重要な建造物等についての保全(景観重要建造物・景観重要樹木・都市景観重要建築物等)、屋外広告物の規制

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築・増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、良好な景観形成に努めた。

- ・都市景観形成地区における届出件数 [平成28年度] 468件 [平成29年度] 500件
- ・都市景観重要建築物等への助成 [平成28年度] 2件 [平成29年度] 2件
- ・屋外広告物許可 [平成28年度] 11,211件 [平成29年度] 10,837件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後、名古屋城眺望景観保全の取り組みについて、景観計画に位置付けるとともに、四間道地区について、「都市景観形成地区」に指定する。

状況を示す写真や資料等

○名古屋城眺望景観保全の取り組み

天守閣展望室からの眺望景観(パノラマ景観)と、天守閣を視対象とする眺望景観(背景景観・見通し景観)を保全対象とし、大規模建築物等の高さや意匠、屋外広告物の色彩等について景観計画に基づく規制誘導を行う。

パノラマ景観

天守閣展望室北方面



標高 50m

天守閣展望室南方面



標高 62m

天守閣展望室からの眺望の保全のため、建築物等の高さを制限

区分	眺望点の名称
パノラマ景観	① 天守閣展望室
	② 本丸
	③ 西之丸
背景景観	④ 東南隅櫓
	⑤ 御深井大堀
	⑥ 筋違橋
	⑦ 鶴の首堀
見通し景観	⑧ テレビ塔スカイデッキ

背景景観

西之丸から見た眺望



西之丸からの眺望

本丸から見た眺望



本丸からの眺望

天守閣を視対象とする眺望景観の保全のため、名古屋城内の眺望点から見て基準点より上(天守閣の背景)に建築物等が見えないよう制限

見通し景観



テレビ塔スカイデッキから天守閣を視対象とする眺望景観の保全に努める

○四間道地区における景観誘導

四間道地区を景観法に基づく「都市景観形成地区」に指定し、建造物や広告物の景観形成基準を定め届け出を義務付けることで、歴史的町並みと調和の取れた良好な景観形成を目指す。

平成29年度は、地区指定に向けて地元懇談会を開催。住民意見を踏まえながら区域、基本方針、景観形成基準案を検討・作成。



四間道の町並み



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
名古屋城本丸御殿の復元		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成20年度～平成29年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園事業)

計画に記載している内容	近世城郭御殿の最高傑作でありながら昭和20年5月14日の戦災で焼失した名古屋城本丸御殿を、実測図等により、史実に忠実に復元する。また、復元過程を公開することにより伝統の知恵と技を学ぶ機会を提供する。
-------------	---

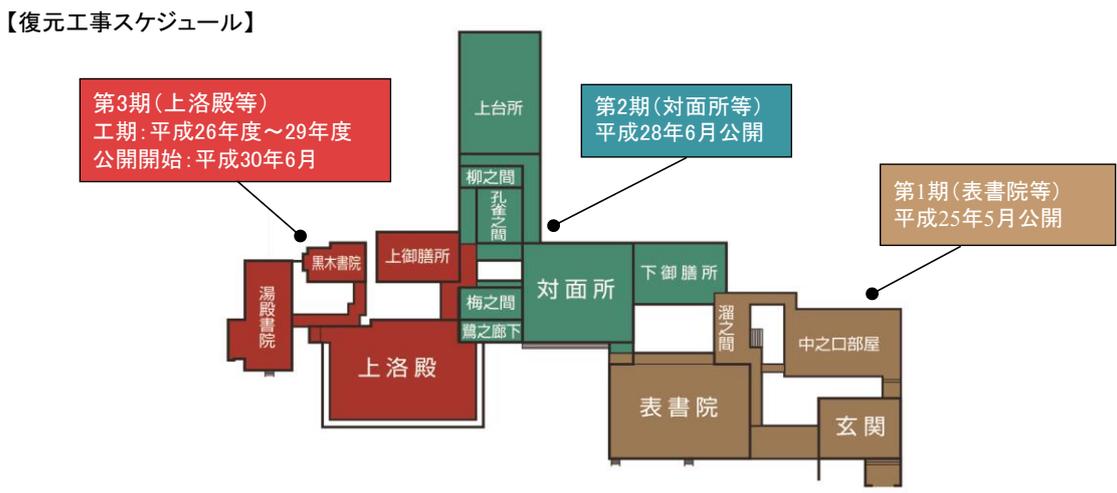
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度は、玄関・表書院等復元工事の第1期部分(約1,000㎡)の公開を開始し、第2期部分(対面所等)の復元工事を実施した。平成26年度は、第2期部分(対面所等)及び第3期部分(上洛殿等)の復元工事を実施した。平成27年度は、引き続き、第2期部分(対面所等)及び第3期部分(上洛殿等)の復元工事を実施し、平成28年度の第2期公開に向けてカウンタウンニュースを発行するなど復元機運の盛り上げを図った。平成28年度は、対面所等復元工事の第2期部分(約1,160㎡)の公開を開始し、第3期部分(上洛殿等)の復元工事を行った。平成29年度は、引き続き、第3期部分(上洛殿等)の復元工事を実施し、平成30年度の完成公開に向けてチラシ等を作成するなど復元機運の盛り上げを図った。平成25～28年度ともに、現場見学会及び匠体験塾を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 平成30年6月8日に完成公開を迎える。完成後は、適切な維持管理を行い、柿葺きの葺き替え等の大規模な修繕整備を計画的に進める必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等



評価軸③-2

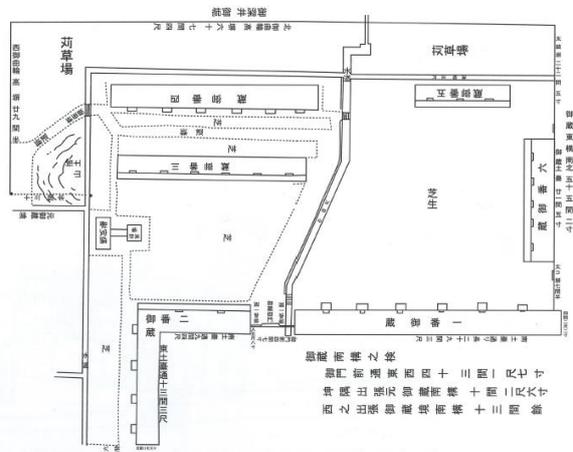
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	名古屋城本丸御殿障壁画をはじめとした名古屋城の重要文化財等を積極的に市民に公開するための展示・収蔵施設の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度は、名古屋城重要文化財展示収蔵施設整備構想を策定した。 平成26年度は、展示収蔵施設予定地の埋蔵文化財発掘調査を行った。 平成27年度は、展示収蔵施設の基本設計等を行った。 平成28年度は、展示収蔵施設の実設計等を行った。 平成29年度は、展示収蔵施設の建設工事に着手した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		今後は外構整備を予定しているが、江戸時代後期の米蔵構図を踏まえた整備を検討する必要がある。	

状況を示す写真や資料等



展示収蔵施設のパス



御米蔵構図(原図は「金城温古録」所収)



(参考)28年度中掘削工事



平成30年3月19日撮影

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
			現在の状況
名古屋城二之丸庭園の整備			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	名勝名古屋城二之丸庭園保存管理計画に基づき、庭園の本格的な保存整備に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25・26年度に石組の崩壊を招いている又は招く樹木の伐採、平成26年度に権現山並びに笹巻山の修理を行った。 平成27年度は権現山山頂の社跡の遺構再現表示と石段の復元整備及び権現山西側の築山修復を行った。 平成28年度は栄螺山の盛土修復及び権現山西側の築山の修復を行った。 平成29年度は北園池の岩組、護岸、中島、築山周辺の修復を行った。 平成25～29年度ともに、発掘調査現地説明会を開催した。 平成30年2月には、国指定名勝庭園区域が拡大された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	名勝名古屋城二之丸庭園の往時の景観を取り戻すため、庭園の修復・保存整備を進める。		

状況を示す写真や資料等

護岸石据え直し・岩組修理:平成30年2月～3月実施



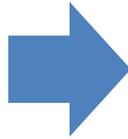
護岸石据え直し前(北園池)



護岸石据え直し後(北園池)



岩組修理前(北園池)



岩組修理後(北園池)



発掘調査現地説明会の開催
 9月23日及び24日の2日間
 各午前・午後の計4回
 参加者数は延べ420人



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
名古屋城石垣の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和50年度～

支援事業名 地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業

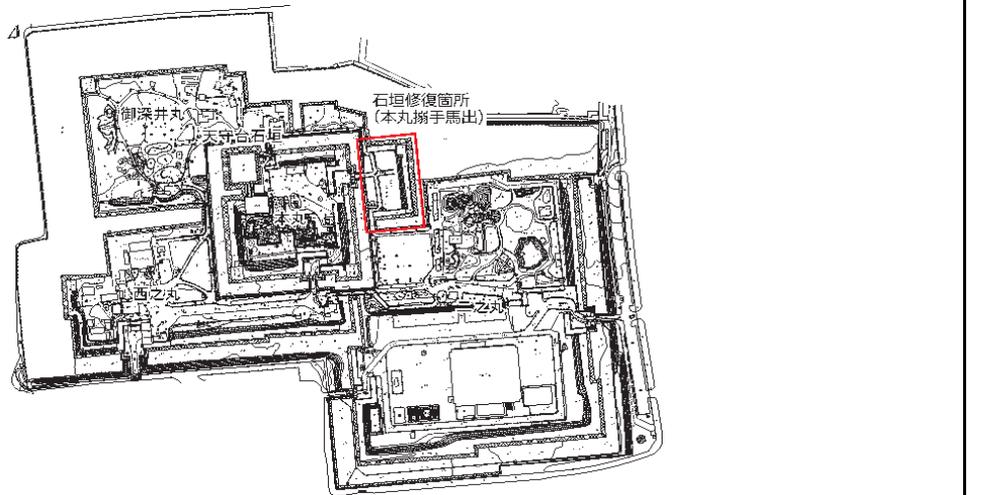
計画に記載している内容 特別史跡名古屋城跡の重要な要素である名古屋城石垣について、修復工事等を実施し、歴史的景観を保全している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大きな孕みが見られた本丸搦手馬出(からめてうまだし)周辺石垣について平成14年度から継続して修復工事を行っている。平成25年度までは、石垣の取り外しを実施した。平成26,27年度は、根石の調査を実施した。平成28、29年度は、石垣前面の地盤補強工事を実施した。平成25～28年度に、修復現場見学会を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	積み直す際の工法・工程や石垣の勾配など修復計画について、関係機関と調整しながら検討を進める。

状況を示す写真や資料等



石垣整備箇所(本丸搦手馬出)



修復工事前の石垣(平成14年度)



修復工事中の石垣(平成29年度末)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況
重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の保存・公開と市政資料館としての活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成元年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」を市の公文書館である「名古屋市市政資料館」として活用し、市政・司法・建物に関する資料の展示等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

公文書の収集、資料の常設展示のほか、企画展やミニコンサートなどのイベントを開催した。

●平成29年度入館者 84,893人(平成30年3月末現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

これまで以上に費用対効果が高いPR手法の選択のため、より経済的かつ効果的な広報媒体・広報ツールのリサーチ及び活用が必要

状況を示す写真や資料等

- 企画展」
 - 「夏休み企画展のぞいてみよう 名古屋市のうつりかわり」 平成29年7月21日～8月31日 入館者7,478名
 - 「上下水道局共催展示 災害への備え」 平成29年7月26日～9月3日 入館者6,626名
 - 「名古屋まつりポスター展」 平成29年9月23日～10月22日 入館者8,207名
 - 「半世紀前の名古屋のまちかど 写真パネル展(予告編)」 平成29年9月15日～10月5、27日～11月9日 入館者10,458名
 - 「熱田区制80周年記念 君をまつまち 熱田」 平成29年10月20日～11月19日 入館者9,058名
 - 「半世紀前の名古屋のまちかど 写真パネル展 ～今昔写真あの場所のいま～」 平成29年12月22日～30年2月1日 入館者6,602名

- 主なイベント
 - 「歩こう!文化のみち」 平成29年11月3日 入館者 2,119名
 - 「スプリングコンサート」 平成30年3月17日 入館者 2,572名



名古屋まつりポスター展



歩こう!文化のみち



半世紀前の名古屋のまちかど 写真パネル展



夏休み子ども企画展 のぞいてみよう 名古屋市のうつりかわり



スプリングコンサート

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的建造物である文化のみち二葉館の保存・活用を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
川上貞奴が居住した建物を創建当時の姿に移築復元し、文化のみちの拠点施設として平成17年2月8日より一般公開している。文化のみちの情報発信、川上貞奴に関する資料・郷土ゆかりの文学資料の展示、そして企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。			
【定量的評価】			
28年度 入館者数34085人 貸室稼働率31% 利用者満足度100%			
29年度 入館者数30,886人 貸室稼働率32% 利用者満足度 98%			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化のみちの拠点施設として、周辺施設とのさらなる連携が課題である。イベントや広報を他施設と連携して実施するなど、さらに連携を進めていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

平成29年度は企画事業を59件実施。



ビデオ上映
「文化のみち全体の紹介映像」



常設展示
「貞奴着物展示」(年4回入替展示)
写真: 貞奴直筆お雛様の模様入り羽織



企画事業
「夏休み！子どものステンド硝子アート教室」
平成29年8月19日
(当日入館者数 112名 参加者16名)



企画事業 開館記念日「ふたばの日」
津軽三味線コンサート
平成30年2月8日 (当日入館者数 983名)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化のみち榑木館の管理運営		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物である文化のみち榑木館の保存・活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的建造物である文化のみち榑木館を平成21年7月17日から一般公開している。文化のみちの歴史などに関する展示や、企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。

【定量的評価】

28年度 入館者数16,282人 貸室稼働率30% 利用者満足度96%

29年度 入館者数15,770人 貸室稼働率28% 利用者満足度97%

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化活動の促進により市民文化の振興に寄与する施設として、周辺施設及び地域団体等とのさらなる連携が課題である。イベントや広報を他施設及び地域団体等と連携して実施するなど、さらに連携を進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

平成29年度は企画事業を50件実施。



常設展示
「文化のみち」における近代建築物の保存と活用



企画事業
「なごや折り紙建築展」
平成29年4月20日～5月7日(総入館者数1,134名)



企画事業
「愛知百鬼夜行展」
平成29年8月5日～15日(総入館者数551名)



企画事業
開館8周年記念・Jazz Live In Shumokukan
平成29年7月22日 当日入館者数 87名

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
名古屋市役所本庁舎及び愛知県本庁舎の歴史的価値の維持向上	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成35年度

支援事業名 市単独事業 ※名古屋市分のみ

計画に記載している内容 名古屋市役所本庁舎と愛知県庁本庁舎(ともに重要文化財)の並立する景観と両者の歴史的価値の維持向上を図るとともに、庁舎の公開等を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

名古屋市役所本庁舎(重要文化財)の歴史と魅力を広く市民に伝えていくため、平成19年度から実施している庁舎開放イベント(11月3日)を実施するとともに、小中学校の社会見学などの団体向け庁舎見学の受け入れを行った。また、平成29年度は閉庁日のガイドツアーを季節ごとに実施し、計308名が参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	継続実施。ガイドツアーの実施については、実績に応じて、開催日及び募集人数を検討。

状況を示す写真や資料等

●庁舎開放イベント実施結果

開催日 : 平成29年11月3日(祝・金)
 開催時間: 午前9時30分～午後4時00分
 入場者数: 3,800人

(参考)過去3年間の入場者数

平成26年度	7,100人
平成27年度	5,900人
平成28年度	3,300人



●庁舎見学の受け入れ実績

平成29年度	38団体(496名)
--------	------------

(参考)過去3年間の受け入れ実績

平成26年度	16団体(333名)
平成27年度	41団体(868名)
平成28年度	39団体(611名)



●平成29年度ガイドツアー実施結果

開催日 : 平成29年5月27日(土)※
 平成29年9月3日(日)午前のみ・9日(土)
 平成30年1月13日(土)・21日(日)
 開催時間: ①午前10時～(※午前10時30分～)
 ②午後1時～(※午後1時30分～)

参加者総数: 308名

※応募総数616通

●名古屋市役所本庁舎及び愛知県庁本庁舎でロケーションが行われた映画・ドラマ等の件数

平成29年度: 2件 平成28年度: 2件 平成27年度: 6件



●庁舎開放イベントの様子

●ガイドツアーの様子

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 日本初の集約電波塔であり、本市の戦災復興を象徴する登録有形文化財でもある名古屋テレビ塔について、都心の重要な観光施設として活用していくための方策を検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

栄地区のシンボルである名古屋テレビ塔の魅力を発信するため、夜景とプロジェクションマッピングをコラボレーションさせたイベントを季節ごとに内容を変えて実施(年2回)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

展望台等を観光客の利用に供するとともに、おもてなしサービスの強化により、集客の向上を図る。

状況を示す写真や資料等

■季節ごとにプロジェクションマッピングの内容を変えて実施

名称 劇場型展望台 SKY THEATER
 「氷の塔の眠り姫 -FIREWORKS by NAKED-」
 日程 平成29年7月15日(土)～10月22日(日)



名称 CITY LIGHT FANTASIA byNAKED -NEW WORLD-
 日程 平成29年12月1日(金)～2月25日(日)



【栄地区まちづくりプロジェクトとは】
 リニア中央新幹線の開業に向け、名駅地区と栄地区が個性を生かした魅力向上を図るため、栄地区を魅力あるまちへと再生し、持続的に発展させることを目的とした基本方針「栄地区グランドビジョンーさかえ魅力向上方針ー」に基づく取り組み

○栄地区グランドビジョンにおける方針
 方針1 公共空間の再生 「にぎわいと魅力にあふれた世界に誇れるシンボル空間の形成」
 方針2 民間再開発の促進 「機能更新が進み活気あふれる都市空間の形成」
 方針3 界隈性の充実 「個性を持った多様で魅力的な界隈の創出」

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度
	平成29年度 現在の状況
「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化財保存事業費関係国庫補助

計画に記載している内容 守山区上志段味地区に残る志段味古墳群の保存・活用のため、一部の古墳の復元整備を行うとともに、各種施設を適宜整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

27年度～古墳・緑地整備工事着手 28年度～部分供用開始
 29年度:「歴史の里」基本計画(平成26年3月策定)に基づき、展示収蔵施設「体感!しだみ古墳群ミュージアム」の整備に向け、設計を実施(平成30年度末完成予定)。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後、第2期整備に向け、調査及び整備計画の策定を行う。

状況を示す写真や資料等



展示収蔵施設イメージ(体感!しだみ古墳群ミュージアム)
 ※平成31年3月末オープン予定



志段味大塚古墳(28年度末に完全復元完了)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
本町城下町歴史案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋城本丸御殿の復元にあわせ、歴史案内板の設置、スマートフォンと連携した情報提供等、本町通周辺の環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度は、歴史案内板の設置に向けて設置場所の検討・地元調整等に着手した。また、スマートフォンアプリ「名古屋歴史スマートナビ」による情報発信を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史案内板の整備に向け調整を進めるとともに、スマートフォンアプリなどを活用し、情報発信を推進していく。

状況を示す写真や資料等

看板のイメージ



名古屋歴史スマートナビ

ダウンロード件数
 平成29年度:3,575件
 平成28年度:1,291件
 平成27年度:1,004件

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
金シャチ横丁構想の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 開府以降400年間に培ってきた名古屋の文化(歴史、生活、産業技術)と、それを支えてきた人のつながりや時代のつながりをじっくり「見て」「知って」「体感・体験」できる空間づくりを目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

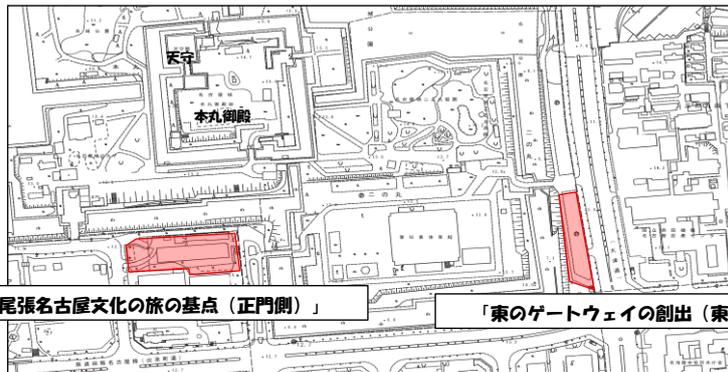
平成25年度は、平成24年度に策定した「世界の金シャチ横丁(仮称)基本構想」の実現に向けて、構想の事業化検討調査を実施した。名称は公募により「金シャチ横丁」に決定した。また、整備候補地にて埋蔵文化財の試掘調査を行うとともに、将来の「金シャチ横丁」をイメージした社会実験を東門側で実施した。平成26年度は、整備候補地にて埋蔵文化財の発掘調査を実施した。また、民間事業者を対象にした「事業説明会」を実施し、整備候補地にて将来の「金シャチ横丁」をイメージした社会実験を正門側で実施した。平成27年度は、公募条件の検討を行ったうえで、「金シャチ横丁第一期整備事業提案」の公募を開始した。平成28年度は、金シャチ横丁第一期整備の事業者を決定し、工事を開始した。平成29年度は、引き続き金シャチ横丁第一期整備工事を実施し、平成30年3月29日に開業した。また、「金シャチ横丁」という名称を知的財産として保護するために、商標登録に向けた手続きを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	金シャチ横丁独自の魅力創出について、運営事業者と連携しながら検討を行うとともに、第二期整備として名古屋の文化を体感することができる施設の整備計画を検討する。

状況を示す写真や資料等

金シャチ横丁構想の段階的な整備の第一段階として、「尾張名古屋文化の旅の基点(正門側)」及び「東のゲートウェイの創出(東門側)」の2箇所の区域において開業した。



名古屋城周辺図



正門側(義直ゾーン)



東門側(宗春ゾーン)

尾張藩初代藩主義直・第7代藩主宗春の名前を冠した商業ゾーン

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榎木地区)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和60年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 白壁・主税・榎木地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、この地区の特徴である門塀や緑と調和するサイン、案内板、解説板等の整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的な建造物は修理基準に、伝統的建造物以外の建造物は修景基準にそれぞれ基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。平成29年度は1件の助成を行った。あわせて、保存地区において、建築行為等を行おうとするものに対し、届出を要請し、この際に専門的・技術的な指導・助言を行った。指導・助言件数は7件。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	保存地区内の町並みの維持・保全のため、今後も経済的・技術的支援を実施する。

状況を示す写真や資料等

白壁・主税・榎木地区の町並み江戸時代以来の武家屋敷の地割を残しており、門・塀からなる屋敷景観と近代洋風建築が建ち並ぶ町並みを形成している。



【指導・助言(現状変更届出)件数】

	H29	H28	H27
伝統的建造物の修理	1	1	0
伝統的建造物の修景	0	0	0
必要物件の改修	0	0	1
伝統的建造物・必要物件以外の新築	4	2	1
伝統的建造物・必要物件以外の改築	1	0	0
伝統的建造物・必要物件以外の外観変更	0	0	0
伝統的建造物・必要物件以外の除却	2	0	0

【補助実施件数】

年度	補助件数
S60～H21	45
H22	0
H23	0
H24	1
H25	1
H26	1
H27	0
H28	1
H29	1
計	50

助言・指導の例：建物を新築する際に、道路境界に門・塀を設置するよう指導を行った。

※H29: 伝建物等以外の新築・除却に1件重複があるため指導・助言件数としては7件

※H22～歴史まちづくり推進室所管

■町並み保存事業(白壁・主税・榎木地区)の実施例

門・塀の修理 (外壁: 漆喰補修、木部塗装、屋根: 瓦ズレ直し、土台腐朽部補修 等)



【修理前】

【修理後】

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
歴史的町並み保存事業(四間道地区)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和61年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 四間道地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、地区の歴史的環境に配慮した道路環境整備を実施するとともに、サイン、案内板、解説板等の整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的な建造物は修理基準に、伝統的建造物以外の建造物は修景基準にそれぞれ基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。平成29年度は3件の助成を行った。あわせて、保存地区において、建築行為等を行おうとするものに対し、届出を要請し、この際に専門的・技術的な指導・助言を行った。指導・助言件数は3件。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない 保存地区内の町並みの維持・保全のため、今後も経済的・技術的支援を実施する。

状況を示す写真や資料等

四間道の町並み
 慶長15年に始まった清州越しにともな
 なって作られた商人町で、土蔵群と
 町家が城下町の面影を残す。



【補助実施件数】

年度	補助件数
S61～H21	62
H22	1
H23	3
H24	2
H25	3
H26	1
H27	1
H28	3
H29	3
計	79

【指導・助言(現状変更届出)件数】

	H29	H28	H27
伝統的建造物の修理	2	2	1
伝統的建造物の修景	0	0	0
必要物件の整備	0	0	1
伝統的建造物・必要物件以外の新築	1	2	0
伝統的建造物・必要物件以外の外観変更	0	0	1
伝統的建造物・必要物件以外の除却	0	2	0

※H22～歴史まちづくり推進室所管

■町並み保存事業(四間道地区)の実施例

町並み保存地区の伝統的建造物に特定されている主屋(長屋)の外観修理工事



【修理前】



【修理後】

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
建中寺前無電柱化事業(市道 平田黒門町線 無電柱化事業)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成29年度

支援事業名 防災・安全交付金(道路事業)

計画に記載している内容 天王祭などで山車が曳き出される東区筒井地区において、歴史的建造物である建中寺三門周辺の電柱・電線を地中化することで、祭りの背景となる歴史的建造物周辺の景観を向上させる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度は、電線管理者と協議を進め、電線共同溝の詳細設計を実施した。
 平成27年度は、道路の北側に電線共同溝を設置した。
 平成28年度は、道路の南側に電線共同溝を設置した。
 平成29年度は、電線の地中化及び電柱の抜柱を行い、道路の復旧工事を実施した。(事業完了)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

事業完了(平成30年2月)

状況を示す写真や資料等



事業着手前



事業完了後(平成30年3月)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
徳川園の管理運営		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成16年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史文化拠点として、尾張藩二代藩主光友の隠居地を起源とする徳川園を良好に管理運営し、近世武家文化を国内外に発信していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

各年度を通して、季節の風情を感じる催事や徳川家を中心とした歴史にまつわる催事を企画し、企画によっては隣接する蓬左文庫、徳川美術館と連携してバランスのとれた行事の実施に取り組んできた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後も、来園者に城下の歴史文化を楽しみながら感じてもらえる企画を実施していく。

状況を示す写真や資料等

平成29年度は企画事業10件実施。季節ごとにイベントを企画している。

徳川園 観月会



和舟飾りを龍仙湖に浮かべ、十五夜と十三夜を鑑賞する観月会を行った。(10/4十五夜、11/1十三夜)お月見だんごの装飾や名古屋市の一部に残る温かな風習「お月見どろぼう」を催事として実施した。

鍋屋上野町源氏天流棒の手



名古屋市指定無形文化財、郷土芸能「棒の手」の演技を上野棒の手保存会の協力で実施した。(11/3)

歴史なるほどトークと朗読劇



蓬左文庫・鳥居文庫長による尾張徳川家にまつわる内容のトークショーや東海ラジオアナウンサーによる朗読劇を行った。(12/10)

流し雛



流し雛は現在の雛飾りの原型とされ、源氏物語にもその記述が残っている。徳川美術館の雛飾りの時期と合わせ園内龍仙湖に再現した。(2/24)

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
蓬左文庫の保存と公開活用		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成16年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 尾張徳川家に伝来した貴重な書籍や絵図類が収蔵・展示されている蓬左文庫の保存と公開活用を積極的に進めている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

古典籍文庫としての閲覧公開活動を重視しつつ、徳川美術館と連携し尾張徳川家の大名文化を分かりやすく紹介する展示を開催した。蔵書の調査研究の成果をもとに講演会・講座などの催事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

同じ敷地内にある徳川美術館・徳川園と日常的な情報交換を密にし、相互の連携を深める。

状況を示す写真や資料等

閲覧室

閲覧室利用者数 1,833人
閲覧件数 1,524件(市内 725件 県内 335件 県外 526件)
閲覧冊数 9,035冊
参考質問 446件



春季特別展チラシ

展覧会

特別展

平成29年4月15日(土)～5月28日(日)
春季特別展「金と銀の国 ジパング 一輝きときらめきの美術ー」
観覧者数 30,416人 (1日平均 780人)

平成29年9月16日(土)～11月5日(日)
秋季特別展 「天璋院篤姫と皇女和宮」「大名家の御用アーティスト 一匠たちの技ー」
観覧者数 37,676人 (1日平均 856人)



秋季特別展チラシ

企画展

平成29年4月1日(土)～4月9日(日) (展示は2月10日から開催)
「日本最大の婚礼調度 一さちぎみ様のお嫁入りー」 観覧者数 8,370人 (1日平均 1,046人)
平成29年6月2日(土)～7月9日(日)
「江戸の生きもの図鑑 ーみつめる科学の眼ー」 観覧者数 21,629人 (1日平均 655人)
平成29年7月15日(木)～9月10日(日)
「天下人の城 ー信長・秀吉・家康ー」 観覧者数 42,462人 (1日平均 849人)
平成28年11月11日(土)～12月13日(水)
「もののあはれ ー物語と花鳥風月ー」 観覧者数 21,149人 (1日平均 755人)
平成29年1月4日(木)～平成30年1月28日(日)
「奇才、我が道をゆく ー達磨・布袋・一休…ー」 観覧者数 8,851人 (1日平均 402人)
平成30年2月10日(金)～3月31日(土) (展示は4月9日まで開催)
「ひなを楽しむー旧家のひな飾りー」 観覧者数 38,634人 (1日平均 788人)



講演会会場風景

講座・講演会等

5月18日 講座「名古屋の山車祭り 東照宮祭ー江戸から明治ー①」 58人
5月25日 講座「名古屋の山車祭り 東照宮祭ー江戸から明治ー②」 65人
11月1日 古典の日記念講演会「名古屋と古典芸能」 48人
2月15日 講座「幕末尾張藩士の情報ネットワーク」 135人
2月22日 講座「“北海道”の名付け親・松浦武四郎と水野正信」 140人
3月8日 講演会「名古屋城百科『金城温古録』の成立」 168人



古書市会場風景

催事

4月2日 第12回 桜二胡音楽会 2,500人
6月4日 徳川園山車揃え 8,000人
10月28日～11月5日 蓬左文庫「古書市」 1,391人
11月3日 歩こう!文化のみちスタンプラリー 662人
2月3日～3月11日 雑巡りスタンプラリー 3,562人

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
堀川の総合整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和61年度～

支援事業名 防災・安全交付金(流域治水対策河川事業)

計画に記載している内容 堀川では堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備を進めているが、堀川とその周辺の歴史・文化資源、まちづくり、市民団体の活動など、堀川をとりまく様々な資産を活かし、周辺のまちづくりを考慮した河川整備に引き続き取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備として、護岸整備および河道掘削を実施することにより、沿川の歴史的資産やまちづくりの基盤となる堀川の周辺環境を洪水被害から守る。

平成29年度 護岸整備延長 約0.5km

平成29年度 河道掘削量 約6千m³

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	河川整備工事には時間を要するが着実な事業進捗を図っていく。 また、沿川の賑わいづくりについても今後各関係団体と連携しながら検討していく。

状況を示す写真や資料等

【護岸整備】



整備前



整備後



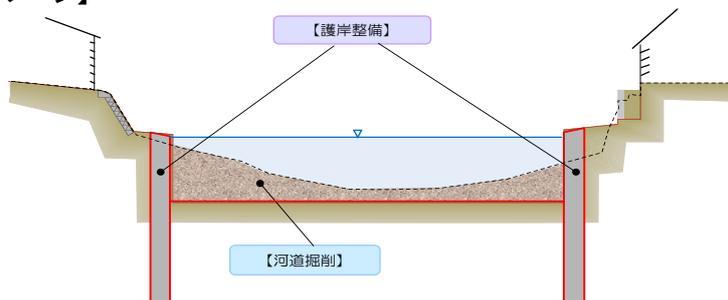
護岸整備状況



【河道掘削】

河道掘削状況

【整備イメージ】



評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
尾張名所図会看板の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民の歴史に関する関心を高めるとともに、地域の歴史的資源を巡る回遊性を高めるため、江戸時代の尾張地域の名勝、史跡などを絵と簡単な文章で紹介した「尾張名所図会」を、その描かれた場所付近に看板として設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

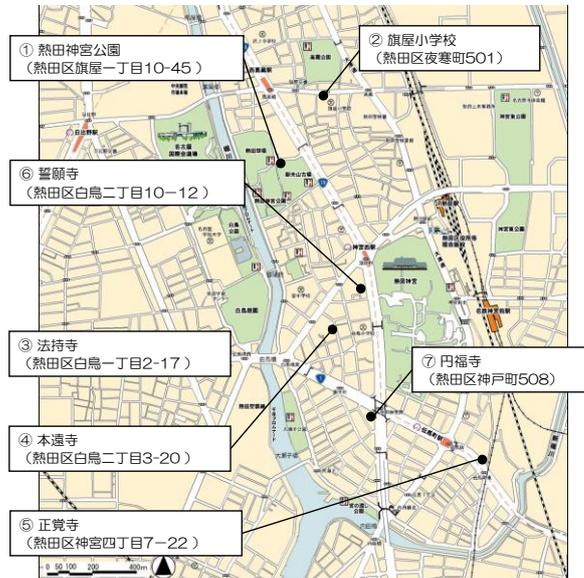
尾張名所図会の看板を描かれた場所付近に設置した。
 【設置基数】 24年度…2基、26年度…2基、27年度…2基、29年度…1基

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 名古屋の歴史の見える化を図り、特に熱田界隈の回遊性を高めるため、設置場所を検討しながら実施していく。また、適切な維持補修に努める。

状況を示す写真や資料等

○設置状況



【熱田神宮公園】



【旗屋小学校】



【法持寺】



【本遠寺】



【正覚寺】



【誓願寺】



【円福寺】
※29年度設置

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化財保存事業費関係国庫補助

計画に記載している内容 各拠点地区や周辺施設を結ぶネットワークルートを設定し、「歴史の里」全体の案内版やサイン、古墳の説明板等のネットワーク化のために必要な設備を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路に歩行者誘導サインを設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

親しみやすく、わかりやすい案内サインを整備し、歴史の里の回遊性を高める。

状況を示す写真や資料等



【案内】
 ・勝手塚古墳
 ・大塚・大久手古墳群地区
 ・志段味大塚古墳

英語表記による説明

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
中川運河の再生			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～(堀止緑地の整備は平成33年度までを予定)		
支援事業名	防災・安全交付金(港湾改修事業、緑地等施設整備事業)※堀止緑地の整備について		
計画に記載している内容	名古屋の暮らしとモノづくりの発展を下支えしてきた中川運河において、堀止緑地の整備や護岸改修、松重閘門の再生などに取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・堀止緑地の整備 平成28年度 緑地整備(西側約0.6ha、通路舗装や植栽等) / 平成29年度 緑地一部供用(西側約0.6ha) 緑地整備(東側通路舗装) ・護岸改修 平成28年度 護岸補修工事(約100m) / 平成29年度 護岸補修工事(約60m)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	緑地の整備や護岸改修については、国の交付金を活用し名古屋港管理組合が整備しており、交付金の確保に向け、引き続き国に要望していく。 状況を示す写真や資料等		
 <p>【堀止緑地の整備】</p>  <p>【護岸改修】</p> <p>【参考】中川運河再生計画(平成24年10月策定)では、緑地・プロムナードの設置や、沿岸用地へのカフェ、レストラン等にぎわい施設の誘導、水上交通の運航などを展開し、運河の魅力と回遊性を高め、「港と文化を感じる都心のオアシス」の形成を目指している。</p>  <p>にぎわいゾーンの再生イメージ</p>			

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況
栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大胆な戦災復興計画により形成された久屋大通公園において、都心のシンボル空間にふさわしい公共空間の整備や、沿道との一体化を図る空間形成等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

久屋大通の再生にあたり、平成28年度に開催した久屋大通再生有識者懇談会からの提言をふまえ、名古屋市として久屋大通の将来のあるべき姿をまとめた「久屋大通のあり方」を平成29年9月に策定した。これに基づき、改正都市公園法により創設されたPark-PFI制度を活用した久屋大通公園(北エリア・テレビ塔エリア)の再生にかかる公募を実施し、整備運営事業者を決定した。また、久屋大通(南エリア)について、再生に向けて専門的に検討する部会(久屋大通再生有識者懇談会南エリア検討部会)を開催し、基盤のあり方等についての意見交換を実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

北エリア・テレビ塔エリアの再生については、平成32年に開催される東京オリンピック・パラリンピックまでの供用開始に向けて、整備運営事業者との調整をすすめていく。南エリアについては、地元をはじめとする関係者との意見交換をすすめる。

状況を示す写真や資料等

■久屋大通再生有識者懇談会等を開催

【開催日】 第6回懇談会：7月11日 第7回懇談会：10月24日 第8回懇談会：3月23日
 第1回南エリア検討部会：2月16日

第8回久屋大通再生有識者懇談会の様子



■久屋大通公園(北エリア・テレビ塔エリア)整備運営事業 ※事業者提案内容

<p>●整備のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テレビ塔を中心とした明快なビスタラインを形成 ○健全な樹木環境の確保 ○合計約1万㎡におよぶ広場の整備 ○誰もが利用しやすいバリアフリー環境の確保 ○両側町に見立てた新しい街並みによる賑わいの波及 	<p>●スケジュール(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2019年1月頃 工事着手 ○2020年4月頃 北エリア供用開始 ○2020年7月頃 テレビ塔エリア供用開始 		
<p>●整備運営事業者 代表構成団体 三井不動産株式会社</p>			
<p>●学びの森ゾーン</p> <p>多世代が学びや刺激を得られ「ものづくり名古屋」を支える、大人と子どもたちが育む空間へ</p>	<p>●アーバンリゾートの森ゾーン</p> <p>美しい森の中の木陰にあるデッキ沿いに、地元密着型のジョアや飲食店が広がる都市型リゾート空間へ</p>	<p>●コミュニケーションゾーン</p> <p>青空の下、語らいのひと時やフックを介したコミュニケーションなど、交流・親交を誘発する空間へ</p>	<p>●シンボルゾーン</p> <p>国内外からの人を惹きつける「ものづくり名古屋」、「日本の価値」をアピール・発信する空間へ</p>
<p>北エリア【都会の安らぎ空間】</p>		<p>テレビ塔エリア【観光・交流空間】</p>	

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和39年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 史跡名勝標札、史跡散策路案内板などの設置事業を行うとともに、こうした歴史関係の案内板を活用し、より身近な歴史に親しむ環境を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡や名勝などの所在地にその由緒などを案内する標札として「史跡名勝標札」を市内に300基(工事などで一時撤去中の標札を含む)設置している。平成29年度は、標札の新設や説明文の修正、補修等を実施した。
 また、各史跡等を連絡させた散策路コースを設定し、市内80コース(1区あたり3～6コース)の各起点にイラストでコース全体や史跡を紹介した「史跡散策路」案内板を、コース途中には誘導標識を設置し、文化財保護意識の普及啓発やウォーキングイベント等での活用を図ったほか、案内板については補修等を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

設置後10年以上経過し、文字や塗装等の劣化が見られる史跡名勝標札や案内板がある。計画的に補修を進めていく。

状況を示す写真や資料等

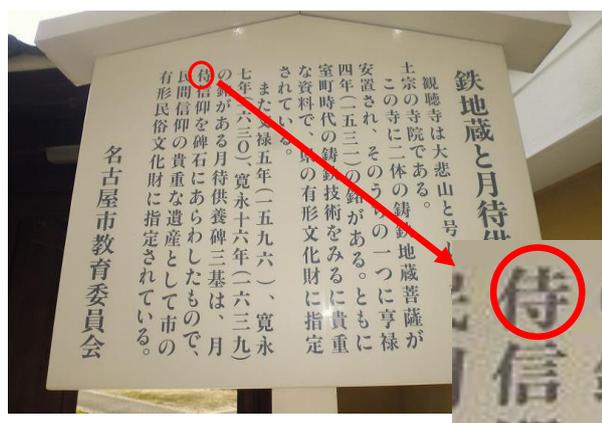
【平成29年度案内板新設等件数】

種別	件数
新設	3
補修	14
説明文等の修正	3

史跡名勝標札の新設



「史跡名勝標札」説明文の修正



【施工前】



【施工後】

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
歴史的建造物の登録・認定	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋市都市景観条例に基づき、市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定するとともに、その保存活用に向けた技術的支援、経済的支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定し、登録資産は計175件、認定資産は計68件(ともに累計)となった。

【登録件数】平成29年度 登録地域建造物資産:14件 認定地域建造物資産:7件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

名古屋市総合計画2018の目標である「平成30年度に登録・認定累計250件」を達成するため、市民、なごや歴まちびと、関係機関等と連携し、身近な歴史的建造物の情報収集体制を強化していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

■登録及び認定件数

年度	登録	認定	合計
H23	50	35	85
H24	43	16	59
H25	37	6	43
H26	8	4	12
H27	9	0	9
H28	14	0	14
H29	14	7	21
合計	175	68	243

■技術的支援の実績件数

年度	件数
H23	6
H24	9
H25	6
H26	5
H27	6
H28	9
H29	12
合計	53

■経済的支援の実績件数

年度	件数
H23	2
H24	1
H25	4
H26	3
H27	1
H28	2
H29	0
合計	13

■登録地域建造物資産(平成29年度登録物件(一部))



第165号 古川古美術(中区丸の内)



第169号 円道寺横丁(西区那古野)



第171号 旅館酒井屋(千種区山門町)

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
なごや歴まちびとの派遣	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域建造物資産に登録・認定された歴史的建造物の所有者からの申請に基づき、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)が保存・活用に関する技術的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

登録地域建造物資産等の歴史的建造物の所有者に対して、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)の派遣を行った。
 【派遣件数】平成29年度:12件

進捗状況 ※計画年次との対応

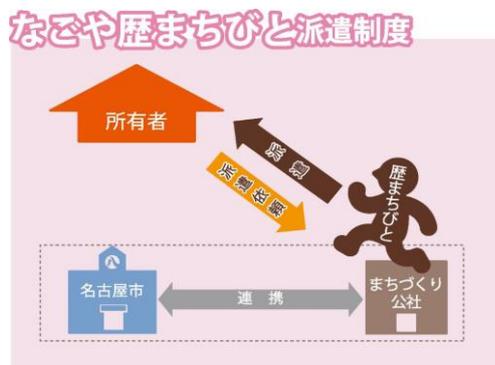
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的建造物所有者からの様々な相談への対応を一層強化するため、なごや歴まちびとの追加養成を検討している。

状況を示す写真や資料等

■派遣制度の仕組み



■派遣実績

年度	件数
H23	6
H24	9
H25	6
H26	5
H27	6
H28	9
H29	12
合計	53

■過去の主な相談内容

- ・屋根、土蔵、母屋、門、塀の補修方法について
 - ・活用に向けた修理計画について
 - ・耐震診断について
 - ・活用検討のための調査、間取り図作成について
- など

■建物調査の様子



項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化のみちの推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成11年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋城から徳川園に至る「文化のみち」エリアにおいて、拠点施設の管理運営、歴史的建造物の保存・活用を行うとともに、「歩こう！文化のみち」などの各種イベントを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化のみち施設(文化のみち二葉館・文化のみち榎木館・旧豊田佐助邸・旧春田鉄次郎邸)の活用・管理を行うとともに、「歩こう！文化のみち」などの歴史的建造物を活用したイベントを開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化のみち施設による個々の企画や発信だけでなく、連携した取組みを推進していく必要がある。



文化のみち二葉館



文化のみち榎木館



旧豊田佐助邸



旧春田鉄次郎邸



文化のみちエリア

【実施イベント】



「第18回歩こう！文化のみち」
平成29年11月3日
(参加者数:23,801人)



「文化のみち雑巡りスタンプラリー」
平成30年2月3日～3月11日

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
「歴史の里」整備事業(公開活用事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～平成30年度		
支援事業名	文化財保存事業費関係国庫補助		
計画に記載している内容	ウォーキングイベント、ものづくりや宿泊など各種体験学習講座、地元の祭りや連携した古墳まつりなどのソフト事業を展開する。また、古墳や自然を紹介するガイドボランティアを養成し活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
整備が進んだ「歴史の里」を活用して現地で当時の生活等を体験するイベントを開催した。地元で開催されたイベントへの参加や地元の保育園幼稚園訪問を行い、地域の住民の方との交流もはかった。イベントには近隣の高校と連携し紙芝居の読み聞かせ活動もおこなった。また、ガイドボランティアは市内外の小中学校をはじめ、社会福祉協議会などからのガイド依頼が毎月あり、その役割を果たしている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	中核となる施設が完成していないため、平成29年度は供用が一部開始されている古墳や緑地を利用したイベントや他の施設で行われるイベントへの参加となった。平成31年春に歴史の里しだみ古墳群がフルオープンを迎えるため、地元などとの連携やソフト事業やボランティア養成を引き続き行っていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;">  <p>古代体験秋まつり 平成29年11月4、5日実施 参加者数累計7,300人</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>市内外での古代体験(埴輪作りなど) 平成29年4月～平成30年3月 受講者数累計9,724人</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;">  <p>地元近隣幼稚園・保育園訪問 平成30年1月 中志段味保育園、高蔵寺幼稚園、春日井いずみ幼稚園、志だみ幼稚園、しだみ保育園 上記5園を訪問 参加者数累計1,077人</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>歴史の里マイスター 平成29年4月～平成30年3月 古墳ガイド、古代体験(埴輪作りなど)を実施 実施回数累計47回 参加人数累計5,139人</p> </div> </div>			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和47年度～

支援事業名 市単独事業 ※国・愛知県指定文化財は、文化財保存事業費関係国庫補助・愛知県文化財保存事業費

計画に記載している内容 指定文化財であるお寺、神社、個人住宅などの歴史的建造物や史跡・名勝といった地域の歴史遺産の保存修理や管理に要する経費について、補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

名古屋市指定文化財等の保存管理・保存継承のために補助金を交付した。
 (平成29年度市指定文化財等の保存団体58件へ補助を実施(民俗文化財などは国の補助事業も活用))
 (平成27年度実績: 39団体、平成28年度実績: 48団体)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

市の補助金だけでは十分な対応が難しいことから、国の補助事業も有効に活用していく。

状況を示す写真や資料等

○深沢第3号墳(守山区)保存管理事業
 古墳の保存のため、除草・樹木剪定等を実施。
 ※平成29年度は除草2回、剪定1回実施。

除伐・除草事業前



除伐・除草事業後



		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域で活動する多様な主体(住民、自治会、NPO、商店街、企業、行政等)が集まり、まちの将来像を話し合うまちづくり協議会等を設置し、その実現に向けた方針をまとめたまちづくり構想を作成したり、地域の魅力向上や課題対応などの取り組みを主体的にすすめていく「地域まちづくり」を支援していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
以下の支援を行い、まちづくり構想づくりとその実践を推進している。 H27サポート制度活用団体 12団体 H28サポート制度活用団体 9団体 H29サポート制度活用団体 9団体			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域まちづくりに取り組むまちづくり団体が増加傾向にあり、今後も支援を実施していく。		
状況を示す写真や資料等			



《あつた宮宿会》
 地域の歴史を次世代に伝承するため、紙芝居を区内の小学校で上演(写真は平成30年2月5日)



《NPO法人 久屋・エコまちネット》
 地区の魅力を高める取組みとして、歩道空間においてオープンカフェを実施(平成29年11月4日)

評価軸③-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
名古屋城本丸御殿障壁画復元模写		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成4年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	国の重要文化財に指定されている名古屋城旧本丸御殿障壁画等を参考に、400年前の鮮やかな色を蘇らせるべく、描かれた当時の状態を再現する「復元模写」を制作し、本丸御殿復元時に御殿内に取り付けて展示する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度は、上洛殿上段之間の床壁貼付絵や襖絵、天井板絵など33面を制作した。 平成26年度は、上洛殿西入側の壁貼付絵や襖絵、上段之間の天井板絵など38面を制作した。 平成27年度は、上洛殿三之間の壁貼付絵や襖絵、上段之間の天井板絵など43面を制作した。 平成28年度は、鷺之廊下の壁貼付絵、上洛殿上段之間の天井板絵など44面を制作した。 平成29年度は、上洛殿松之間の襖絵や上洛殿三之間の天井板絵など48面を制作した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史実に忠実な障壁画復元模写の制作のため、重要文化財障壁画の熟覧等を行いながら事業を進める。		
状況を示す写真や資料等			

【平成29年度 制作画面(一部)】



上洛殿松之間襖絵



上洛殿上段之間天井板絵



上洛殿三之間天井板絵

平成29年度末 進捗率 50% (1,325面中666面完了)

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
名古屋城本丸御殿障壁画保存修理		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和61年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	国の重要文化財に指定されている名古屋城旧本丸御殿障壁画について、絵の具の剥落、虫害、下地の傷みなど損傷を生じているものを順次修理し、保存・継承を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度は、上洛殿の天井板絵30面の保存修理を行った。 平成26年度は、上洛殿の天井板絵29面の保存修理を行った。 平成27年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、表書院等の襖絵16面の点検修理を行った。 平成28年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、上洛殿の襖絵8面、玄関等の杉戸絵8面の点検修理を行った。 平成29年度は、上洛殿の天井板絵26面の保存修理、玄関の障子腰貼付絵など18面の点検修理を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後の展示・貸し出しの予定を勘案し、計画的に修理を行う。		

状況を示す写真や資料等

【平成29年度 修理画面(一部)】



上洛殿一之間天井板絵



上洛殿入側天井板絵



二之間南側障子腰貼付絵 竹林豹虎図

評価軸③-32

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
郷土ゆかりの文学資料室		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 郷土ゆかりの文学資料が時代とともに散逸することを防ぐため、文化のみち二葉館(旧川上貞奴邸)の一部を活用して、郷土ゆかりの文学資料の保管・展示を行うことにより、市民文化の振興に寄与する。

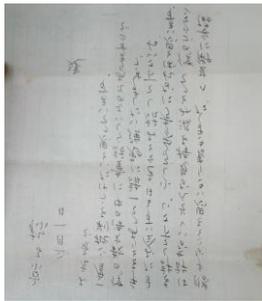
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 市民や文学関係者が保有する文学資料について、その保存状態や歴史的価値を調査した。
 〈平成28年度〉中部圏短歌会寄贈資料(89点)、本田美保子氏寄贈資料(704点)
 〈平成29年度〉稲葉京子氏、城山三郎氏、宗田理氏関係寄贈資料(739点)、三宅千代氏等関係寄贈資料(467点)
- 収蔵資料や折々のテーマに基づいた企画展及び関連催事の開催
 〈平成28年度〉現代中部短歌展、宗田理展、稲葉真弓展
 〈平成29年度〉あじくりげ展、江戸川乱歩展、中部同人誌展

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	さらに多くの方々に施設に訪れていただき、興味を持っていただけるよう、今後もインターネットを活用するなどより効果的な周知方法を検討していく。

状況を示す写真や資料等

- 文学資料(寄贈品)の調査・保存
 〈平成28年度〉
 ・中部圏短歌会資料…会誌はじめ89点
 ・本田美保子氏寄贈資料…冊子はじめ704点
 〈平成29年度〉
 ・稲葉京子氏等関係寄贈資料…著書はじめ739点
 ・三宅千代氏等関係寄贈資料…直筆原稿はじめ556点



寄贈された資料

- 文学関係企画展
 〈平成28年度〉
 ・「今を詠む人々～現代中部短歌～」展 6月1日～6月30日 期間中入場者 2,276名
 ・「宗田理 展—『ぼくらの七日間戦争』ができるまでとそれから—」展 8月3日～9月8日 期間中入場者 2,660名
 ・「稲葉真弓 移りゆく時代と女性を描いた作家」展 10月13日～11月17日 期間中入場者 5,442名
 ・「没後10年 エッセイから読み取る 素顔の城山三郎」展 2月1日～3月26日 期間中入場者 8,349名
 〈平成29年度〉
 ・「食の文化誌『あじくりげ』」展 5月24日～6月21日 期間中入場者 2,095名
 ・「児童文学リバイバル展『新美南吉の世界をたずねて』」展 8月1日～8月31日 期間中入場者 1,849名
 ・「江戸川乱歩と人形」展 10月18日～11月15日 期間中入場者 3,781名
 ・「中部の同人雑誌展-清水信さんを偲んで」展 2月2日～3月4日 期間中入場者 3,394名



企画展「食の文化誌『あじくりげ』」展の様子



「江戸川乱歩と人形」展 チラシ

項目	評価対象年度	平成29年度
	現在の状況	
水上交通ネットワークの検討	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 中川運河、堀川及び名古屋港を連絡し、熱田、名古屋城及びささしまライブ24などの歴史資産や拠点をめぐる新たな水上交通網の実現を目指す。熱田の宮の渡しと桑名の七里の渡しを結ぶ東海道唯一の海路である七里の渡しの復活に向けて、民産学官の観光舟運に関する情報共有と連携強化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①中川運河水上交通定期運航・モニタリング調査の実施に向け、運航事業者の公募等を行った。(平成28年度)
・水上交通定期運航・モニタリング調査の運航事業者公募
- ②中川運河水上交通定期運航・モニタリング調査を開始した。(平成29年度)
・水上交通定期運航・モニタリング調査の実施(愛称:クルーズ名古屋)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	民間事業者による水上交通の実現に向けた公民連携した具体的な方策を検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

【クルーズ名古屋運航ルート】

The map illustrates the cruise route along the Nakagawa River. Key locations marked include Nagoya Station, Sasashima Live, Kanadal Resort, Gardenbuto, Bluebonnet, and Kinoshita. The route is shown as a red line connecting these points. A legend indicates that blue circles represent landing points (船着場) and blue rectangles represent sightseeing facilities (観光施設). Inset photos show the city skyline, Sasashima Live, the cruise boat, and the Kinoshita train station.

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
「ものづくり文化の道」推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成13年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋駅北東に位置する西区の南部地域を「ものづくり文化の道」とし、ものづくりを中心としたこの地域の魅力を産業観光、産業振興、商店街の活性化といった産業面のみならず、歴史的な価値を有する建造物や町並みの保存・活用を図りながら高め、その魅力を地域の内外に発信していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●当該地域の「ものづくり文化」に触れてもらうために、体験や展示が楽しめる「ものづくり文化の館」を開催した。 ●当該地域の魅力のひとつである菓子産業を広く発信するために、「西区も～やっこお菓子まつり」を開催した。

開催場所	日時	体験者数
円頓寺七夕まつり	平成29年7月29日(土)、30日(日) 午後2時30分～午後7時	455人
西区民おまつり広場	平成29年10月8日(日) 午前10時～午後3時	200人
mozo ワンダーシティ	平成30年2月17日(土) 午前11時～午後4時	182人

開催場所	日時	来場者数
庄内緑地	平成29年10月8日(日) 午前10時～午後3時	69,000人

※同時開催した西区民おまつり広場の来場者数を計上

●当該地域の「ものづくり文化」に触れてもらうために、ガイドによるまち歩き・ものづくり体験を行う「親子で行こう『ものづくり文化の道』体験ツアー」を開催した。

実施日	参加者	内容
平成29年7月14日(土)	子7人、親6人	まち歩き・体験(大正琴の演奏)
平成29年11月12日(土)	子11人、親11人	まち歩き・体験(名古屋提灯の制作)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	イベントによってこの地域の盛り上げや魅力の発信を行っているが、経常的にこの地域を訪れて楽しんでもらうものが少ないことが課題である。

状況を示す写真や資料等

ものづくり文化の館

・実演



・展示



・体験



(写真はいずれも2月17日)

西区も～やっこお菓子まつり

・菓子販売



・組み鉛の実演



・ちびっこマジパン教室



(写真はいずれも10月8日)

親子で行こう「ものづくり文化の道」体験ツアー

・ガイドによるまち歩き



7月14日

・ものづくり文化体験(大正琴の演奏・名古屋提灯の制作)



7月14日



11月12日

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	およそ400年前の清須越以来、名古屋の中心で脈々と伝えられてきた中区の魅力を市民グループと協働で発信し、中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成29年10月28日(土)に第42回堀川文化講座「名古屋をつくった建築家～夏目漱石の義弟鈴木禎次～」を開催。終了後「おから猫ドーナツ」を参加者に配布。参加者92名 ・平成29年10月16日～平成29年12月28日「三の丸界隈スマホdeまちめぐり」を開催。参加者43名 ・平成29年11月23日(祝・木)第22回堀川文化歩こう会「大須の賑わいと芸能・文化の歴史を探る」を開催。参加者54名			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	参加者の年齢層が高いため子どもや若年層を引き付ける事業を考える。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>・第42回堀川文化講座 「名古屋をつくった建築家～夏目漱石の義弟鈴木禎次～」 (平成29年10月28日)</p>  <p>・第22回 堀川文化歩こう会 「大須の賑わいと芸能・文化の歴史を探る」 (平成29年11月23日)</p>			

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
熱田区役所における歴史資料展示	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 熱田区役所1階に「熱田区歴史資料展示コーナー」を設け、故福島重夫氏等から寄贈された歴史資料を展示している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

年2回の展示替及び区制80周年記念事業、区民まつり、生涯学習まつりでの展示を行った。
 歴史資料の分類整理については、展示替え作業及び各所での展示と並行して、デジタル化の作業を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	課題:熱田区歴史資料の管理・運営に携わるボランティアの増員 対応方針:生涯学習センターのマイスター講座等を通して周知・募集

状況を示す写真や資料等

第16回展示「熱田区の誕生まで」
H29.4.3～H29.9.29



展示の様子



資料:熱田町旧記



ポスター

第17回展示「熱田と信長」
H29.10.2～H30.4.2



展示の様子
 資料:桶狭間今川義元
 血戦など

区制80周年記念事業
H29.10.7～H29.10.15



展示の様子

熱田区民まつり「にぎわい秋まつり」
H29.10.8



展示ブース様子①



展示ブース様子②

評価軸③-37

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
名古屋まつり			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和30年度～		
支援事業名	市単独事業（名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所を構成員とする名古屋まつり協進会で実施）		
計画に記載している内容	昭和30年に戦災復興を祝して始まり、山車揃や郷土英傑行列など名古屋の歴史にちなむ催しも多い名古屋まつりを継続して開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>多くの市民及び本市来訪者等に、市の伝統・文化・魅力に触れ、知っていただくことを目的に名古屋まつりを実施した。</p> <p>平成29年(第63回)名古屋まつり(平成29年10月21日(土)・22日(日))を中心に開催 【主な事業】※大型の台風21号の影響により、土・日両日とも行列中止、日曜日の会場行事を中止 ・名古屋城を会場の一つとして位置付け、土日両日とも無料開放 ・オアシス21会場においてレゴランドジャパンスペシャルステージやパブリックビューイングを実施 ・久屋大通会場において、ご当地武将隊・ご当地アイドルによるステージや、なごやめしなどが集合した会場行事を実施 【人出】24.3万人</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も、まつりを通じて名古屋の伝統、文化、魅力に触れてもらうことを目的に計画的に実施。		
状況を示す写真や資料等			
<p>●平成29年(第63回)名古屋まつり 日 程 平成29年10月21日(土)・22日(日)を中心に実施 来場者数 24.3万人</p>			
			
ご当地武将隊		なごやめしブース	
			
レゴランドジャパンスペシャルステージ		久屋大通会場・オアシス21会場での催事の様子	
出典 第63回名古屋まつり記録写真集(名古屋まつり協進会)			

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及び文化財公開活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和47年度～		
支援事業名	市単独事業 ※文化遺産を活かした地域活性化事業・愛知県文化財保存事業費、文化財保存事業費国庫補助		
計画に記載している内容	指定文化財である地域の民俗芸能・伝統行事の継承等について補助するとともに、文化財公開活用事業を行っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・市内の無形文化財や民俗文化財の継承のために必要な用具の修理・新調および練習等に係る補助を行うことで、民俗芸能・伝統文化の継承や後継者の育成を行うことができた。 ・名古屋の歴史や文化の魅力を紹介する観光情報アプリ「なごや歴史探検」を作成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	専門家による現地での現況確認・修繕方法の指導などを通じて、文化財の保存技術の向上を図っていく。		
状況を示す写真や資料等			



西区北比良 二福神車の幕復元新調に伴う専門家による調査並び指導



戸田一ノ割八幡社山車の車輪ならびに車軸修理前の現況確認

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
伝統産業若手育成事業助成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成5年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業に従事する人材の定着の促進を図るため、その若手技術者を育成する市内企業に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「伝統産業若手技術者育成事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に所属する市内企業に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・平成27年度補助金交付件数:9件 ・平成28年度補助金交付件数:10件 ・平成29年度補助金交付件数:12件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も伝統産業を担う人材の支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>享保年間に京都から伝わる。「手描友禅」と「型友禅」の二つの技法があり、単彩濃淡調の渋い色使いが特徴。</p> <p>名古屋友禅</p>	 <p>江戸期に尾張藩が作り始めた旗印などの染色品が起源。黒の美しさ・丈夫さに優れる。</p> <p>名古屋黒紋付染</p>		
 <p>江戸期に宮大工や寺大工が専門製造を始め発展。宮殿御坊造を代表とする豪華な構造が特徴。</p> <p>名古屋仏壇</p>	 <p>室町時代から生産。明治初期には貴重な輸出品となり、生産量全国一を誇った時期も。</p> <p>名古屋提灯</p>		
 <p>天保年間に尾張海東郡の梶常吉により技法が確立。ガラスのきらめく様子や折り重なる色彩の深みが特徴。</p> <p>七宝</p>	 <p>尾張近郊で採れる良質な木材を資源に、下級武士の内職として発展。多様な工程と、色鮮やかな仕上がりが特徴。</p> <p>尾張仏具</p>		

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
伝統産業若手育成事業助成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成5年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業に従事する人材の定着の促進を図るため、その若手技術者を育成する市内企業に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「伝統産業若手技術者育成事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に所属する市内企業に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・平成27年度補助金交付件数:9件 ・平成28年度補助金交付件数:10件 ・平成29年度補助金交付件数:12件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も伝統産業を担う人材の支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。		
状況を示す写真や資料等			
	享保年間に京都から伝わる。「手描友禪」と「型友禪」の二つの技法があり、単彩濃淡調の渋い色使いが特徴。		江戸期に尾張藩が作り始めた旗印などの染色品が起源。黒の美しさ・丈夫さに優れる。
名古屋友禪		名古屋黒紋付染	
	江戸期に宮大工や寺大工が専門製造を始め発展。宮殿御坊造を代表とする豪華な構造が特徴。		室町時代から生産。明治初期には貴重な輸出品となり、生産量全国一を誇った時期も。
名古屋仏壇		名古屋提灯	
	天保年間に尾張海東郡の梶常吉により技法が確立。ガラスのきらめく様子や折り重なる色彩の深みが特徴。		尾張近郊で採れる良質な木材を資源に、下級武士の内職として発展。多様な工程と、色鮮やかな仕上がりが特徴。
七宝		尾張仏具	

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
伝統産業新商品開発事業助成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成5年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業製品の新たな需要開拓を図るため、市内伝統産業の業界団体が行う現代感覚にあった新商品開発事業に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「伝統産業新商品開発事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・平成27年度補助金交付件数:4件 ・平成28年度補助金交付件数:3件 ・平成29年度補助金交付件数:2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も現代ニーズに合った商品開発の支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。		

状況を示す写真や資料等



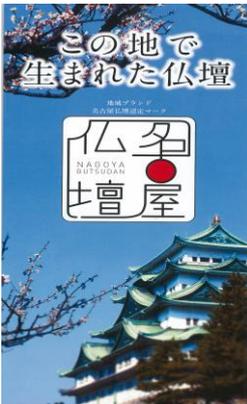
・補助金交付団体名
名古屋仏壇商工協同組合
・新商品名
「伝統的工芸品20号各宗向け」



・補助金交付団体名
名古屋提灯製造組合
・新商品名
「LED回転用電装」

評価軸③-41

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
伝統産業製品PR事業助成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業製品に対する需要を喚起するため、広く消費者に伝統産業製品のPRをするイベントの出展経費及びPRのための冊子・パンフレット等を作成する経費等に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「伝統産業製品PR事業補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・平成27年度補助金交付件数:4件(PR冊子等作成:4件) ・平成28年度補助金交付件数:6件(展示会等出展:1件、PR冊子等作成:3件、体験教室等:2件) ・平成29年度補助金交付件数:5件(PR冊子等作成:2件、体験教室等:3件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も伝統産業製品のPR支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。		
状況を示す写真や資料等			
 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付団体名 名古屋仏壇商工協同組合 ・事業内容 小学生向け体験教室 		 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付団体名 尾張仏具技術保存会 ・事業内容 小学生向け社会科学習(巡回型体験学習会の実施) 	
 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付団体名 名古屋仏壇商工協同組合 ・事業内容 主に職人の技術を紹介したPRパンフレット作成 		 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付団体名 名古屋提灯製造組合 ・事業内容 神事、祭礼用など各種提灯をまとめたPRパンフレット作成 	

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
名古屋市民芸術祭	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成2年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 総合的な市民文化芸術の祭典として、毎年、10月・11月の2ヶ月間にわたって、主催事業とコンテスト方式の参加公演事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

参加公演事業では、伝統芸能などの4部門で参加を募り、部門ごとに市民芸術祭賞・市民芸術祭特別賞を授与した。
 (伝統芸能部門 参加公演数:⑳㉔㉗4公演 市民芸術祭賞:㉑1公演 ㉒該当なし ㉓該当なし 市民芸術祭特別賞:㉑1公演 ㉒1公演 ㉓1公演)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

公演によっては、日程の都合上、実地審査への参加が難しい審査員もいらっしゃるが、できる限り多くの審査員に各公演にご参加いただけるよう、引き続き調整を図っていく。

状況を示す写真や資料等



箏曲正絃社公演
 日時:11月11日(土)
 会場:三井住友海上
 しらかわホール

●参加公演事業(伝統芸能部門)

平成29年度(参加公演数 4公演)

- ・市民芸術祭賞 「箏曲正絃社 野村正峰生誕90周年記念 “創造”のDNAー和楽の響き」参加者数597名
- ・市民芸術祭特別賞 「園美の会舞踊公演一部 第四回桜美の会」参加者数280名 (精励賞)

平成28年度(参加公演数 4公演)

- ・市民芸術祭賞 該当なし
- ・市民芸術祭特別賞 「第15回狂言三の会公演 十四世野村又三郎 斯道四十周年記念」参加者数220名

平成27年度(参加公演数 4公演)

- ・市民芸術祭賞 該当なし
- ・市民芸術祭特別賞 「筑前琵琶八洲流初代宗家 安倍旭洲招聘 100年記念 第二部「尾張名古屋に蘇る筑前琵琶・久世旭如りサイタル」参加者数326名

評価軸③-43

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
なごや子どものための巡回劇場	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和55年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 次代を担う子どもたちを対象に、伝統芸能・人形劇・児童劇・交響楽・バレエなどを身近な生活圏において、低料金で楽しんでもらうため、文化小劇場や区役所講堂・ホールを会場に、各区を巡回して公演を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

子どもたちを対象とする伝統芸能の公演として、狂言の公演を実施。(平成29年度入場者数:354人)
次代を担う子供たちに、名古屋の伝統文化を身近に触れてもらう機会を提供した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

本事業における他ジャンルの公演に比べ、来場者が少ない傾向にあるが、子どもたちにとっては、数少ない伝統芸能に触れる機会であるため、より多くの方にご来場いただけるよう、実演団体等と引き続き協力して実施していく。

状況を示す写真や資料等

●平成29年度
 狂言共演社「狂言がやってきた！」
 3月27日(火) 緑文化小劇場
 3月28日(水) 東文化小劇場
 (各日2回公演)

※入場料は大人・子どもとも700円



29年度公演チラシ(表)



29年度公演チラシ(裏)

29年度公演の様子



演目
 「柿山伏」「棒縛」
 「附子」「梟山伏」

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の策定・見直しなど		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 重点区域内に残る市指定文化財の山車などの保存及び活用を引き続き支援していく。また、志段味地区を重点的に施策を展開し、主要な古墳については、史跡指定を検討し、保存を担保するとともに、基本計画の策定を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・名古屋城下の山車行事総合調査について報告書をまとめた。対象は、筒井町天王祭・出来町天王祭、若宮祭り、花車神明社祭、那古野神社例大祭
 ・国指定史跡大曲輪貝塚について、保存活用計画を策定した。
 ・「本願寺名古屋別院 鐘楼」「笠覆寺 本堂、多宝塔、仁王門、鐘楼」「伊勢参宮図屏風」を名古屋市指定文化財として指定した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化財調査、文化財指定を通じて、文化財を後世に引き継いでいく。

状況を示す写真や資料等

【名古屋城下の山車行事調査】

・城下の祭礼文化、山車行事について
 詳細調査を実施



報告書

【平成29年度に市指定文化財に指定した物件】



<本願寺名古屋別院 鐘楼(建造物)>
江戸前期



<笠覆寺 本堂(建造物)>
宝暦13年～文政11年



<伊勢参宮図屏風(絵画)>
江戸前期

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
----	--------	-----------------

文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--	--	---

計画に記載している内容
 ・「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)
 ・「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) など

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

評価軸③-10、20参照(P12、P22)

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	古墳等の整備では、第2期整備に向けて、調査及び計画策定が必要である。また全体ネットワーク化事業は順調に整備が進んでいる。

状況を示す写真や資料等

○「歴史の里」整備事業(古墳等の整備) 評価軸③-10参照



(外観図)

展示収蔵施設【体感！しだみ古墳群ミュージアム】

- 延床面積 1,560㎡
- 主な居室 展示室・収蔵庫、体験活動室、カフェレストランなど

○「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) 評価軸③-20参照



歩行者誘導サイン

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
・防災に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等) ・文化財防火デー等の防災訓練の取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	指定文化財に設置された消防設備の確認や防火訓練、志段味地区の古墳の安全管理施設の整備等、文化財パトロール員の巡視等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
指定文化財建造物の施設・所有者のうち、毎年1月26日の文化財防火デーに合わせて16施設を抽出し、市消防署及び自衛消防団と協力・連携して防災訓練及び消防施設の査察を実施している。 また、市文化財パトロール員を活用し、志段味地区の古墳を含めた市内に存する文化財を定期的に巡視し、災害等の報告を受けた場合はすぐに対応して文化財の保護・管理に努めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		指定文化財建造物の件数が非常に多いが、順次ローテーションを図りながら巡視を継続していく必要がある。	

状況を示す写真や資料等

文化財防火デー(平成30年1月26日)における防災訓練の実施



<覚王山日泰寺>



<名古屋市市政資料館>



<名古屋市役所本庁舎>



【平成29年度 文化財防火デー消防訓練実施施設(計16施設)】

覚王山日泰寺(千種区)、名古屋市市政資料館(東区)、慈眼山成願寺(北区)、大乃伎神社(西区)
 豊国神社(中村区)、名古屋市役所本庁舎(中区)、八事山興正寺(昭和区)、名古屋市東山荘(瑞穂区)
 熱田神宮上知我麻神社(熱田区)、牛立八幡社(中川区)、茶屋後神明社神楽保存庫(港区)、富部神社(南区)
 龍泉寺(守山区)、龍蟠山瑞泉寺(緑区)、高牟神社(名東区)、島田地蔵寺(天白区)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援(保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等)、民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 ・「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業)
 ・「歴史の里」整備事業(公開活用事業)
 ・山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業 など

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成31年春にフルオープンを迎える歴史の里では、昨年同様、整備した緑地や古墳を活用した「体感！古代秋まつり」を開催し、昨年を上回る7,300人の方にご参加いただいた。また整備した古墳を実際に巡ってもらうため、夏休み企画として「ワクわく謎解きウォーキング」をおこない500人以上の方が訪れた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史の里現地での秋まつりやウォーキングイベントを行い、現地での認知度はあがってきているが、周辺の区ではまだまだ知らない市民の方も多。来年度のフルオープンに向けて、広く周辺区にも認知度が上がるよう努めたい。

状況を示す写真や資料等



歴史の里現地での「体感！古代秋まつり」を開催。一部供用を開始している整備した古墳を活用したガイドや復元した木棺に入る体験等を行った。参加者7,300人



夏休み企画として現地の古墳に設置されたスタンプを押しながら、整備した古墳を訪れてもらうイベントを行った。参加者500人以上



5月3日に行われたJRのウォーキングイベントでは2700人が歴史の里を訪れた。



「歴史の里」周辺保育園・幼稚園5園に訪問し、整備された現地の様子をクイズを交えながらスライドで紹介した。すでに訪れている幼児も多く、整備された古墳により関心を持ってもらえることが出来た。参加者数累計1,077人

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・埋蔵文化財包蔵地についての周知及び開発との適切な調整(①)
- ・市内での開発行為における住宅都市局建築審査課との連携(①)
- ・名古屋城跡・志段味古墳群の発掘調査など(③・④)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度:平成26年度に作成した文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布
 名古屋城本丸御殿跡周辺発掘調査、名古屋城跡搦手馬出石垣解体にともなう発掘調査、名古屋城二之丸庭園発掘調査、名古屋城跡西の丸地区発掘調査の報告書作成、勝手塚古墳発掘調査、勝手塚古墳等レーダー探査、東谷山12号墳測量調査、志段味古墳群の群集墳の分布調査
 平成28年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを新たに作成し、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布
 名古屋城跡搦手馬出石垣解体にともなう発掘調査、名古屋城二之丸庭園発掘調査、名古屋城跡西の丸地区発掘調査、大塚3号墳・白鳥5号墳・白鳥6号墳発掘調査
 平成29年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布(①)
 名古屋城二之丸庭園発掘調査(②)、勝手塚古墳・白鳥6号墳・東谷山12号墳発掘調査(③・④)

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	周知の埋蔵文化財包蔵地における文化財保護法の手続きを、より周知していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

「埋蔵文化財発掘の届出」を忘れていませんか?

埋蔵文化財を包蔵する土地として周知されている土地(周知の埋蔵文化財包蔵地)において、地面を掘る工事等を行う場合、工事着手予定日の60日前までに、文化財保護法に基づいて届出をすることが義務付けられています。無届けでの工事着手は違法行為となります。

名古屋市内の埋蔵文化財に関するご相談は下記までお願いします。

詳細につきましては、名古屋公式ウェブサイトでご案内しています。

○埋蔵文化財の手続きについては
 「埋蔵文化財の取り扱いについて」
<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/24-2-7-4-0-0-0-0-0-0.html>

○周知の埋蔵文化財包蔵地の場所については
 「周知の埋蔵文化財包蔵地(名古屋市遺跡分布図)」
<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/11-2-2-5-0-0-0-0-0-0.html>

〈埋蔵文化財に関する問い合わせ先〉
 名古屋市教育委員会文化財保護室
 〒460-8308 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号(名古屋役所 本庁舎5階)
 地下鉄本通線「市役所」駅から徒歩1分、市バス「基幹バス(市役所)」駅から徒歩1分、
 名古屋バス「東大手」駅から徒歩5分
 電話番号 052-972-3269 ファックス番号 052-972-4202
 電子メールアドレス a3268@kyoiku.city.nagoya.lg.jp



②名古屋城二之丸庭園発掘調査(2017.10.12)

①埋蔵文化財届出啓発チラシ



③勝手塚古墳発掘調査(2017.12.14)



④白鳥6号墳発掘調査(2017.11.22)

評価軸⑤

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
歴史的町並みの保存へ意見交換	平成29年11月20日	朝日新聞
久屋大通公園に五つの広場設置	平成30年3月14日	朝日新聞
半径1~1.5キロ高さ制限 名古屋城の眺め 景観審答申	平成30年3月21日	中日新聞
金シャチ横丁大にぎわい 名古屋城周辺新グルメスポット	平成30年3月30日	読売新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画に位置付けられた事業のうち、特に新たな展開のあった事業や歴史まちづくりに関わるイベント等について、報道により市民の関心の向上につながったと考えられる。

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

今後もメディア等を通じて市民の関心に訴えていくことが必要である。

状況を示す写真や資料等



平成29年11月20日 朝日新聞



平成30年3月14日 朝日新聞



平成30年3月21日 中日新聞(夕刊)



平成30年3月30日 読売新聞

評価軸⑥ その他(効果等)																							
項目	評価対象年度 平成29年度																						
観光客数の動向について																							
計画に記載している内容																							
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																							
<p>本丸御殿の復元工事・公開をはじめ、文化財の整備が進む名古屋城において、入場者数が右肩上がりである(平成20年度から8年間で約67万3千人増)。また、本市全体の観光客入込数についても、増加傾向にある(平成20年度から8年間で約178万6千人増)。</p>																							
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																						
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	名古屋城天守閣木造復元事業にともなう平成30年5月からの天守閣入場制限の影響を踏まえ、本市全体の歴史文化の魅力さをさらに底上げ・発信していく必要がある。																						
状況を示す写真や資料等																							
<h3>名古屋城入場者数の推移</h3> <table border="1"> <caption>名古屋城入場者数の推移 (万人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H20</td><td>124.63</td></tr> <tr><td>H21</td><td>135.23</td></tr> <tr><td>H22</td><td>151.77</td></tr> <tr><td>H23</td><td>141.48</td></tr> <tr><td>H24</td><td>147.23</td></tr> <tr><td>H25</td><td>165.74</td></tr> <tr><td>H26</td><td>164.18</td></tr> <tr><td>H27</td><td>174.02</td></tr> <tr><td>H28</td><td>191.95</td></tr> <tr><td>H29</td><td>190.27</td></tr> </tbody> </table>		年度	入場者数	H20	124.63	H21	135.23	H22	151.77	H23	141.48	H24	147.23	H25	165.74	H26	164.18	H27	174.02	H28	191.95	H29	190.27
年度	入場者数																						
H20	124.63																						
H21	135.23																						
H22	151.77																						
H23	141.48																						
H24	147.23																						
H25	165.74																						
H26	164.18																						
H27	174.02																						
H28	191.95																						
H29	190.27																						
<h3>名古屋市観光入込客数の推移</h3> <table border="1"> <caption>名古屋市観光入込客数の推移 (延べ人数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>観光入込客数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H20</td><td>5,247.60</td></tr> <tr><td>H21</td><td>5,460.48</td></tr> <tr><td>H22</td><td>5,365.50</td></tr> <tr><td>H23</td><td>5,487.08</td></tr> <tr><td>H24</td><td>5,451.40</td></tr> <tr><td>H25</td><td>6,516.12</td></tr> <tr><td>H26</td><td>6,701.58</td></tr> <tr><td>H27</td><td>6,843.66</td></tr> <tr><td>H28</td><td>7,043.56</td></tr> </tbody> </table>		年度	観光入込客数	H20	5,247.60	H21	5,460.48	H22	5,365.50	H23	5,487.08	H24	5,451.40	H25	6,516.12	H26	6,701.58	H27	6,843.66	H28	7,043.56		
年度	観光入込客数																						
H20	5,247.60																						
H21	5,460.48																						
H22	5,365.50																						
H23	5,487.08																						
H24	5,451.40																						
H25	6,516.12																						
H26	6,701.58																						
H27	6,843.66																						
H28	7,043.56																						
出典:平成28年度名古屋市観光客・宿泊客動向調査(H301月公表) ⇒全国観光統計基準に適合する83地点(29施設の他、行・祭事、その他イベント等)の観光入込客の延べ人数を調査																							

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会	
会議等の開催日時： 平成30年5月23日	
(コメントの概要)	
<p><全体について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に事業の進捗内容をわかりやすく伝えるため、できる限り具体的な日時、場所、実績件数等を記載すべきである。 	
<p><主な個別事業等について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の推進体制について、市民・市民団体との連携についてはパブリックコメントなどの制度で今後もしっかりと担保していくべきである。 ・名古屋城眺望景観の記載について、眺望点と眺望対象の区別を明確に記載し、背景景観とは天守閣の背景景観であることを示すとわかりやすい。 ・堀川の総合整備について、護岸整備だけでなく、どのように沿川の風情を残していくか、賑わいづくりを図っていくのかという点も検討課題である。 ・評価軸⑥の観光客数の動向について、観光客入込数とはどのような考え方であるか説明を記載するとわかりやすい。また、市全体の観光客入込数の増加が顕著な年度の主な原因を併記するとよい。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の進捗状況を市民によりわかりやすく伝えるため、制度内容や指標などについては特に留意し、具体的かつ詳細な記載に努める。 ・堀川の総合整備事業について、沿川の賑わいづくりに関しても今後各団体・部署と連携した検討を進めていく。 <p>全体を通し、今後も進捗評価が各事業の一層の推進ないし見直しの契機となるよう、今後とも努める。</p>	